

# 自己評価

(対象評価：令和4年度)

I 保育の計画性	評価基準			
	4	はい		
	3	大体あてはまる		
	2	あまりあてはまらない		
	1	いいえ		
評価内容	4	3	2	1
1.園の教育理念・教育方針の理解				
○ 園の教育理念や教育方針を理解している	○			
○ 園の方針、園長の考えについて教職員と話し合っている	○			
○ 園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる	○			
2.園教育要領の理解				
○ 教育要領を理解していると思う	○			
○ 教育要領について、園長や教職と話し合っている	○			
○ 幼児の姿や環境の構成。教師のかかわりなど想起できる	○			
3.教育課程の構成				
○ 園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ園の教育理念、方針に従い構成している	○			
○ 園の教育課程をもとに、保育の計画をたっている	○			
○ 園の教育課程は社会状況や子どもの実態を考慮しながら、見直しを行っている	○			
4.園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている				
○ 指導計画は教育要領、教育課程、幼児の実態等をもとに考えて作成している	○			
○ 指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活を考慮して作成している	○			
○ 短期の指導計画は子どもの実態に合わせて自由に変更できるような順応性のあるものにしてしている	○			
○ 幼児の生活が豊かになるような行事を幼児の実態に合わせて精選している	○			
5.環境の構成				
○ 安全で清潔感のある環境構成をしている	○			
○ 指導計画に基づいて、幼児が主体的に関わりたくなるような環境構成をしている	○			
○ 幼児が自ら活動を生み出していけるような素材との出会いを考えている	○			
○ 幼児が自ら活動していけるような場や空間の構成をしている	○			
○ 遊びに必要な遊具や用具素材等、質・数量を配慮して用意している	○			

6.環境の内容				
<input type="radio"/> 幼児の動線、目線に配慮した環境構成をしている	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> 楽しい雰囲気の中で安心して遊び込める環境構成をしている	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> 幼児の活動がより豊かになるように活動の展開に応じて環境を再構成している	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> 幼児の発想を柔軟に取り入れて、保育室の装飾や展示を考えている	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> 教師の願いや意図を持って環境構成をしている	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> 幼児の発達や生活を見直して環境構成をしている	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> 季節の変化に応じた環境構成をしている	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> 異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている	<input type="radio"/>			
7.保育と計画の評価・反省				
<input type="radio"/> 自分の保育と計画の評価・反省は行うようにしている	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> 評価・反省は観を定めて行っている	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> 自分の保育と計画の評価・反省についての次の保育と計画に生かせるように行っている	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> 自分の保育を他の教師に見てもらい、それをもとに検討する		<input type="radio"/>		

Ⅱ 保育の在り方、幼児への対応	評価基準			
	4	はい		
	3	大体あてはまる		
	2	あまりあてはまらない		
	1	いいえ		
評価内容	4	3	2	1
1.健康と安全の配慮				
<input type="radio"/> 朝の登園時には特に視察を大切について幼児の体調を確認している	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> 体調が悪そうな時は検温をする等適切な処置を行い家庭に連絡をしている	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> 事故や怪我は発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡を取り、適切な処理をしている	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> 園内に危険な箇所、活動が年齢や能力に対して危険ではないか等常に観察している	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> 危険予測について、幼児達と一緒に考えたり等して安全な遊び方について気付くことができるようにしている	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> クラスの中の水道付近の清掃や換気、採光、室温等に気を付けている	<input type="radio"/>			

○ トイレの清掃やトイレの使い方について配慮し、幼児にも正しい使い方を具体的に示している	○			
2.幼児のみとりと理解				
○ 一人ひとりの幼児とのかかわりを特に大切に考え対応をしている	○			
○ 幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン受け止めるようにしている	○			
○ 幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている	○			
○ 幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている	○			
○ 見えないところで活動している幼児にいてもその活動の様子を推察するようにしている	○			
○ 一人の幼児をじっくり見ながら、周囲にも目を配ることができる	○			
○ 幼児のこれまでの姿、今の姿からこれからの活動をある程度予想することができる	○			
○ 個々の幼児の発達の姿や課題について見通しを持って理解できる	○			
○ 幼児同士のかかわりの姿をとらえることができる	○			
○ 幼児たちが今興味や関心を持っていることがわかる	○			
○ 幼児の思いを自分の一方的な感じ方で決めるつけないようにしている	○			
○ 幼児の理解のために保護者と話し合うことがある	○			
○ 幼児の姿を家庭での生活を踏まえて理解している	○			
○ 幼児の姿を多面的にとらえることができる	○			
3.指導とかかわり				
〔共同作業者として〕				
○ 幼児に合わせて同じように動いたり、同じ目線にたつてものを見つめたりしている	○			
○ 幼児の気持ちに共感しながら、一緒に遊んでいる	○			
○ 一人ひとりの幼児の思いを把握して寄り添いながらかかわっている	○			
○ 幼児からのアイディアを大切に受け止めている	○			
〔あこがれを形成するモデルとして〕				
○ 「先生のようにやってみたい」と幼児が思うようなモデルとしての姿を心がけている	○			
○ 教師らしい品位ある言葉、正しい日本語を心がけている	○			
○ 幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている	○			

○ いたわり、思いやり、良いこと悪いこと等の道徳性を培ううえでもモデルとなっている	○			
〔心のよりどころとして〕				
○ 幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている	○			
○ 幼児とのスキンシップを取るようになっている	○			
○ 幼児一人ひとりの良さを認めるようになっている	○			
○ 幼児一人ひとりの話をよく聞くようになっている	○			
〔遊びの援助者として〕				
○ 幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している	○			
○ 幼児の年齢に応じた分かりやすく聞き取りやすい語りかけをしている	○			
○ 幼児が行き詰っている時に適切な援助をしている	○			
○ 幼児が自ら考えたり工夫したり、できるような見守り方をしている	○			
○ 幼児を褒めたり、励ましたり、目当てを持たせるような言葉掛けをしている	○			
○ 禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせる言葉や態度はできるだけ控えている	○			
○ “一人ひとり”と“みんな”の関係を常に考えながらかかわっている	○			
○ 幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をしている	○			
〔その他〕				
○ 幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている	○			
○ 幼児の個性や性格に応じたかかわり方をしている	○			
○ 幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合でもしていない	○			
4.保育者同士の協力・連携				
○ クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている	○			
○ クラスの環境構成等についてお互いにフランクに意見交換をしている	○			
○ 教職員全員がすべての幼児についての理解できるような様々な工夫をしている	○			
○ 指導上配慮を必要とする幼児については教職員全体で話し合いをし、対応をするようになっている	○			
○ 他のクラスや異年齢の幼児達と触れ合うような様々な工夫をしている	○			

○ 他のクラスの幼児達とかかわるよう様々な保育の形態を取り入れている	○			
------------------------------------	---	--	--	--

Ⅲ保育者としての資質や能力・適正	評価基準			
	4	はい		
	3	大体あてはまる		
	2	あまりあてはまらない		
	1	いいえ		
評価内容	4	3	2	1
1. 専門家としての能力・良識				
○ 幼稚園教諭として専門知識や技能を身に付けている	○			
○ より高度な専門知識や技能を身に付けようと研鑽している	○			
○ 幼児の性格や個性を把握するよう努めている	○			
○ 保護者に対し、幼児の事をわかりやすく話せる	○			
○ 保護者との信頼関係をつくるよう努めている	○			
○ 仕事の手順をよく考え、能率よく行っている	○			
○ 幼児が考え、感じていることがある程度予測できる	○			
○ 保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている	○			
○ 幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにする	○			
○ 何かをしてもらった感謝の気持ちを言葉で表している	○			
○ 自らの健康に配慮し、保育をする上で安全性にも気を付けている	○			
○ 幼児と保護者の顔や名前を把握している	○			
○ 職務上知り得た情報の秘密を守っている	○			
○ 幼児が成長して変容していくことに喜びを感じる	○			
○ 幼児や教育に関する情報を絶えずとらえようとしている	○			
○ 幼稚園や幼児のことだけでなく自然や社会の出来事にも興味がある	○			
○ 幼稚園の仕事の他に、多様な趣味を持っている	○			
○ 自然に対する感性を持っている	○			
○ 命の尊さを感じている	○			
○ 世界の情報、出来事に興味を持っている	○			
○ ごく身近な地域の出来事に関心がある	○			

IV保護者への対応	評価基準			
	4	はい		
	3	大体あてはまる		
	2	あまりあてはまらない		
	1	いいえ		
評価内容	4	3	2	1
1.情報の発信と受信				
○ クラスの子どもの様子、自分の考え方、保育のポイント等をクラスだより等知らせている	○			
○ 電話、連絡帳等で緊急な連絡等を行っている	○			
○ 個々の子どもの様子は直接話たり、電話、連絡帳等を使って伝え合っている	○			
○ 保育参観や保護者会を開いて、保育について共通理解をしている	/	/	/	/
○ いつでも保護者と個別懇談ができるようにしておく	○			
○ 自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞く	○			
2.協力と支援（保護者に対して）				
○ 保護者の要望等は、園長、主任等に相談しや報告をしている	○			
○ 保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的意義付けをはっきりさせてからにする	○			
○ 保護者の協力が必要な場合は、園長と協議し具体的な協力の在り方について保護者と話し合っている	○			
3.守秘義務の遵守				
○ 保護者の個人情報については園の方針に従っている	○			
○ 個々の子どもの情報は口外していない	○			
○ 保護者、家族の情報を口外していない	○			
4.対応上のマナー、良識				
○ 正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて語り掛け、相手の話をしっかりと聞く	○			
○ 親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない	○			
○ 電話は手短かに簡潔に対話することを心掛けている	○			
○ 保護者の国籍、思想、宗教により、また子どもの性差、障害、個性等のよって区別、差別していない	○			
○ 長期の欠席、入院等の場合、園、クラスの様子を伝えている	○			
○ 園の全ての保護者に対し、親しみを込めた会話を心掛けている	○			
5.クレームへの対処の仕方				
○ 保護者からのクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談をしている	○			

○ クレームの内容によっては、教職員全体で検討し共通理解の上で対処している	○			
---------------------------------------	---	--	--	--

V 研修と研究	評価基準			
	4	はい		
	3	大体あてはまる		
	2	あまりあてはまらない		
	1	いいえ		
評価内容	4	3	2	1
<b>1.研修・研究への意欲・態度</b>				
○ 研修会や研究会に参加する場合には事前にその内容を確認したり、自分なりの考えをまとめている	○			
○ 研修会や研究では活発に発信している		○		
○ 専門書や専門雑誌を読んでいる	○			
○ 研究保育を参観する時は自分なりの課題と視点を持って観ている	/	/	/	/
○ 自分の保育のあり方や悩みについて、園長、主任、職員と話し合っている	○			
○ 他園を見学している	/	/	/	/
<b>2.教師としての専門性に関する研修・研究</b>				
○ 子どものみとりとその内面理解についての研修・研究を行っている	○			
○ 指導計画の作成や記録の取り方考察のあり方に関する研修・研究を行っている	○			
○ 環境構成・再構成のあり方についての研修・研究を行っている	○			
○ 自分なりの幼児観・保護者観の確立のための研修・研究を行っている	○			
○ 確立された幼児観・保護者観について客観的にみつめるための研修・研究を行っている	○			
○ 保育者同士の協力連携のあり方について研修・研究を行っている	○			
○ 自らの得意分野を確立するための研修・研究を行っている	○			
○ マナー等に関する研修を行っている	/	/	/	/
○ 保護者への対応のあり方について研修を行っている	○			
<b>3.遊具・教材に関する研修・研究</b>				
○ 園の遊具や教材について様々な利用方法について研究している		○		
○ 園の遊具はどのような使い方が危険かわかる	○			



4.園内の環境に関する研修・研究				
○ 園舎の構造が持つ特質が幼児にとってどのような教育的な意味があるか理解している	○			
○ 園庭をどのように教育的に利用していくことができるか理解している	○			
5.今日的課題に関する研修・研究				
○ 子どもを取り巻く様々な状況が変化してきていることについて学習し、何が問題あるか、背景、原因、実態はどうであるかについて理解したり、学習したりしている	○			
○ 様々な変化の中で幼児にとって何が問題であるか子ども園としてはそれに対してどのような教育を行われなければならないかについて考えたり学習している	○			
○ アレルギー・自立の遅れ等、最近多くみられる問題について理解している	○			
○ 障害のある幼児に対応する保育のあり方を学習している	○			
○ 預かり保育や子育て支援のあり方・考え方について学習している	○			
○ ティーム保育についてその意義やあり方について研修・研究している	○			
○ 幼保こ小連携についてのその意義やあり方について研修・研究している	○			
○ 危機管理について現状やあり方について研修・研究している	○			
6.自らを高めるための学習				
○ 趣味・人とかかわり等、潤いのある生活を心がけている	○			
○ 保育の専門知識や技能の他に趣味や読書、ボランティア活動等に関心がある	○			
○ 尊敬する人の話は是非聞きたい	○			
○ いろいろな分野の人と意見交換し合いたい	○			

## 学校評価シート（学校関係者評価）

（評価対象 令和4年度）

幼稚園型認定こども園柏ひがし幼稚園

日時 令和5年3月3日

評価委員 保護者3人、富勢西小学校校長、布施新町町会長

### 《評価委員様①》

定性評価には、多くの好意的な言葉や感謝の言葉が寄せられ、園に対する評価は高く、先生方との良好な関係が伺えます。園長先生はじめ各先生方が園児及び保護者に寄り添い、いつも温かく見守っているためであると思います。とてもいい結果が出ていると思います。

定量評価（学校評価アンケート）からの課題は、①「お子さんは「ありがとう」「ごめんなさい」が言えますか」、②「お子さんは、登園して行う支度（朝の支度）をやっていると思いますか。」であると思います。これは保護者の困り感であり、保護者の困っている状況に対して、「一緒に解決していきましょう」という共感的な姿勢を継続し、連携の絆を強くすることが解決方法の一つであると考えます。

定量評価（自己評価）からの課題は、自己評価Vの1「研修会や研究では活発に発信している」、3「園の遊具や教材について様々な利用方法について研究している」であると思います。小学校も同様です。全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けて、子供たちと園との実態を把握し、PDCAサイクルを活用し、適切な効果、検証と分析を行い、ミニ研修会でグループ協議等をし、認識を合わせることが解決方法の一つであると考えます。

学校評価アンケート及び自己評価結果から、とても良好な運営をされていると感じました。今後も園児の笑顔を輝かせる場として、ご指導の程よろしくお願いいたします。

### 《評価委員様②》

令和4年度も、コロナ禍での日常保育、教育活動、様々なご対応、本当に大変だったと思います。3年目となった今年度は、コロナ禍初年度とは違い、多方面で幅が広がる年になったと感じました。

様々な対処法が見つかり、解決できる内容が多くありました。このことは、職員の皆様にとっても、子ども達にとっても、保護者にとっても大きな壁の中から抜け出せる光となりました。今後も、この柏ひがし幼稚園なら、大きな壁にぶつかった時に必ず光を差し伸べてくれると確信し

ております。職員の皆様のご尽力は計り知れません。誠にありがとうございました。

学校評価アンケートを見て一目瞭然ですが、保護者からの評価はどの項目も非常に高く、保護者が柏ひがし幼稚園に対して信頼を寄せていることがわかります。また子ども1人ひとりの個性に沿った保育、接し方が高く評価されています。職員の皆様の目線が子どもの高さにまで下がって接して下さる結果だと思えます。これからも、その姿勢を大切にしていきたいです。

また、職員の皆様の自己評価を拝見いたしますと、ほとんどの項目で、意見の一致、同調がわかります。これは、職員間での連携・連帯が深く取られていることと思えます。子どもにとって一番安心することで、子どもの安心は保護者の安心にもつながる一番大切な部分です。保護者の安心は職員の皆様にとっても安心となり、この「安心の輪」が柏ひがし幼稚園への信頼の源であることは間違いありません。

コロナ禍で、保護者が気軽に幼稚園へ足を運ぶこと・地域の皆様との交流が減ってしまったことは否めません。しかし、これからは解決すべき事柄です。今後コロナウイルスが5類へ移行となった時の園の方針や、具体的な活動内容は早めに保護者へ説明があると、より安心して幼稚園に通うことができます。

また、保護者の会が今後も継続されるなら、財源の確保と見直しは必須となっていくと思えます。個人的には役員として幼稚園に関わったことは非常に有益でしたが、共働き家庭が増える中、役員の活動範囲、個人への負担はできるだけ偏らないようにできると、もっと活動しやすくなるのではないのでしょうか。

我が家では二人の子どもを柏ひがし幼稚園で預かっていただき、大切に導いていただき大変感謝しております。

### 《評価委員様③》

一年間ありがとうございました。幼稚園の先生方や、園長先生のお気持ちや考え方がわかり、とても充実した時間を過ごさせていただきました。

コロナ禍が三年間続き、私たちの常識がガラッと変わり、コロナ禍前はどの様に過ごしてきたのか記憶が朧げになってしまったように感じます。

幼稚園との距離感もイベント等の中止や縮小により、大きく開いてしまっていると感じています。

また、多様性を求められる昨今では、子どもだけではなく各家庭の考え方やとらえ方の違いと学校・幼稚園の考え方のすり合わせなども課題であると聞き、より、コミュニケーションを取りあうことが大切だと感じました。

柏ひがし幼稚園の素晴らしい所は、個人の気持ちや考え方を尊重し、園の考え方を園児や家庭に押し付けない所だと思います。

子ども達が何を考え、感じ取っているかを理解して下さる先生方が多く、子どもの気持ちの整理に付き合い良い添ってくださる所を何度も見かけています。

親としてこうしなさい、ああしなさいと押し付けてしまうことが多いと気付かされる事が多く、言葉かけのお手本にさせて頂いています。

子どもが不安定な時には、お声がけも頂き、家での様子を聞き、対応して下さりありがとうございます。来年度もよろしく願いいたします。

#### 《評価委員様④》

コロナ禍で大切な職務の中、先生方皆さまが子どもに寄りそった教育・保育をして下さっていると感じており、日々感謝の想いを持っていました。

私も子どももコロナ禍での園生活しか知りませんが、不便を感じず楽しく安心な園生活を送れているのは、先生方の様々な工夫や努力があってこそと思います。本当にありがとうございます。

優しい言葉をつかう、急がせない、強要しない、見守る等、柏ひがし幼稚園での生活から感じること（素敵だと思うところ）は、たくさん子どもたちと過ごす日々のなかで実践し続けていくのは容易なことではないと思います。

園長先生はじめ、先生方おひとりおひとりの思いやお考えがブレず、とても強いのではないかなと感じました。先生方の言葉や子どもと一緒にいる時のお姿に接し、子どもだけでなく親の私たちも育てていただいていると感じます。

教育・保育に対応が求められる事柄が多様化している世の中の流れで、先生方の職務も複雑化しているのではないかと思います。本当にお忙しい毎日を送られていると思いますが、先生方ご自身の体調や生活も充実したものとなられますよう、祈っております。そして、これからも優しさに満ちた柏ひがし幼稚園が続いていってくださることを心から願っております。